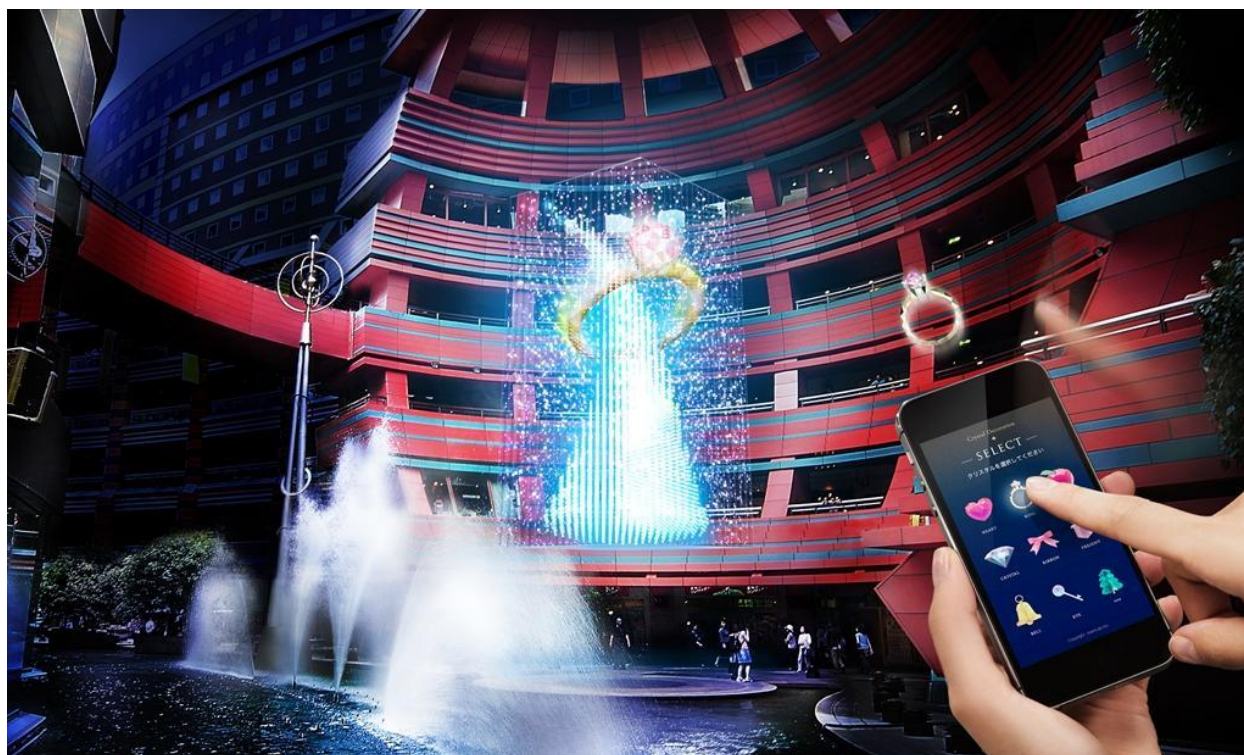


チームラボ株式会社
2014年0ct

チームラボ、去年に続き、
スマホでデコレーション出来るインタラクティブな“動く光の彫刻”のクリスマスツリー
「クリスタルツリー2014」を、『キャナルシティ博多』にて発表



【概要】

チームラボ、キャナルシティ博多に、高さ約10m、約6.5万個（去年の1.3倍）のFull Color LEDチップによる“動く光の彫刻”である「クリスタルツリー2014」を発表。期間は2014年11月8日（土）～12月25日（木）まで。

【本文】

チームラボ、キャナルシティ博多に、高さ約10m、約6.5万個（去年の1.3倍）のFull Color LEDチップによる“動く光の彫刻”である「クリスタルツリー2014」を発表。

「クリスタルツリー2014」は、お客様がお手持ちのスマートフォンでオーナメントを選んで投げると、ツリーに、巨大な光の立体物が出現して飾り付けられたり、館内設置のタッチパネルに触って、実際のツリーを立体的に動かすことができたりと、その場にいる人たちが参加することができるクリスマスツリーです。

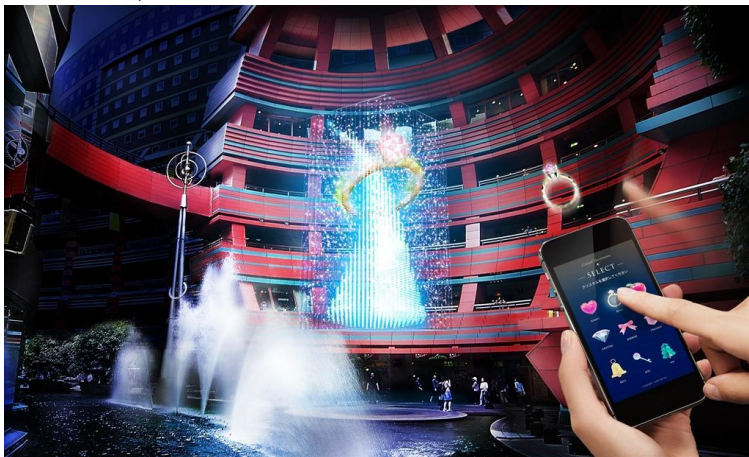
また「クリスタルツリー2014」は、昼間は巨大な直方体のオブジェである「クリスタルキューブ」に様変わりし、太陽の光を受けて輝きます。

期間は2014年11月8日（土）～12月25日（木）まで。



■作品

クリスタルツリー / The Crystal Tree
チームラボ, 2014



作品 : <http://www.team-lab.net/all/products/crystaltree.html>

動画 : <http://youtu.be/tmPcqWxmdvo>

■デコレーションの手順

- ・スマートフォンの場合



スマートフォンのブラウザからアクセスし、用意されたオーナメントの中から、気に入ったものを一つ選ぶことができます。『クリスタルツリー2014』に向けてスワイプすると、選んだオーナメントで、ツリーを実際にデコレーションすることができます。みんなで気持ちを込めてデコレーションした巨大な光のクリスマスツリーは、世界でたった一つのクリスマスツリーになります。

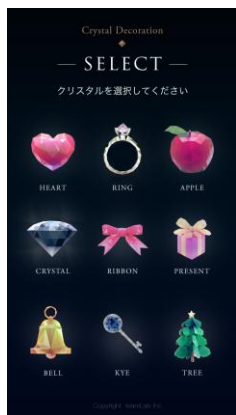
1：ページにアクセス

「クリスタルツリー2014」周辺で、お手持ちの端末の Wi-Fi を ON にして、表示されるネットワークの中から、「CrystalDecoration」または「CrystalDecoration_g」を選択してください。インターネット（Safari、Google Chrome などのブラウザ上）で新しくページを開くと、自動的にデコレーションできるページ「christmasdeco.jp」が開きます。



2：好きなオーナメント（飾り）を選択

好きなオーナメント（飾り）を選び、アイコンを画面上部までスライドさせると、ツリーに飾りつけができます。



3：様々な演出

飾りつけたオーナメント（飾り）がいっぱいになると、ツリーの周りを回転しながら虹になって空に届けられます。



・会場に設置されたタッチパネルの場合



「クリスタルツリー2014」を揺らすなどのエフェクトを加え、特別な演出を楽しむことができます。
タッチパネル設置場所：B1F サンプラザステージ

【開催概要】

クリスタルツリー2014

会期：2014年11月8日（土）～12月25日（木）

会場：キャナルシティ博多 B1F サンプラザステージ（〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉1丁目2）

点灯時間：18：00～24：00

※11月8日（土）は19：00～

※天候等の都合により、変更となる場合がございます。

<http://canalcity.co.jp/>

【クリスタルツリー点灯式】

日程：2014年11月8日（土）

点灯式：19：00～

スペシャルゲスト：中島美嘉

■チームラボとは

プログラマ・エンジニア（UI エンジニア、DB エンジニア、ネットワークエンジニア、ハードウェアエンジニア、コンピュータビジョンエンジニア、ソフトウェアアーキテクト）、数学者、建築家、CG アニメーター、Web デザイナー、グラフィックデザイナー、絵師、編集者など、スペシャリストから構成されているウルトラテクノロジスト集団。サイエンス・テクノロジー・アート・デザインの境界線を曖昧にしながら活動中。

主な実績として、カイカイキキギャラリー台北（台湾）で『生きる』展開催（2011）。『LAVAL VIRTUAL』（フランス）にて「世界はこんなにもやさしく、うつくしい」が建築・芸術・文化賞を受賞（2012）。国立台湾美術館（台湾）にてチームラボ「We are the Future」展を開催（2012）。「teamLabBody」が Unity Awards 2013 の Best VizSim Project を受賞（2013）。『シンガポールビエンナーレ 2013』にて、「秩序がなくともピースは成り立つ」を展示（2013～2014年）。「チームラボと佐賀 巡る！巡り巡って巡る展」（佐賀）を開催（2014）。東京駅の商業施設「KITTE」にて、新作「時に咲く花」を常設展示（2014～）。『Art Basel - Hong Kong』（香港）にて、「増殖する生命 - Gold」を展示（2014）。Pace Gallery（アメリカ・ニューヨーク）にて『teamLab: Ultra Subjective Space』を開催、デジタルアート作品6作品を展示（2014）。『香川ウォーターフロント・フェスティバル』など香川県内3会場で、ショーとデジタルアート作品を展示する『チームラボと香川 夏のデジタルアート祭り』を開催（2014）。東京都現代美術館（東京）にて人工衛星の実物大模型に高さ19mの滝をプロジェクションマッピングする「憑依する滝、人工衛星の重力」を発表（2014）。Pace Gallery（北京）のグループ展『We Love Video This Summer』に参加（2014）。「秩序がなくともピースは成り立つ」が『アルス・エレクトロニカ』にて、Interactive Art 部門の Honorary Mention（入選）を受賞（2014）。

『チームラボって、何者？』がマガジンハウスより刊行（2013年12月19日）。

現在、ハウステンボス（長崎）のイベント『秋の光の王国』にて新作「呼応する木々」を発表（～10月30日）、『pixiv祭』（六本木）にて、デジタルとお絵かきを融合した空間を設計、新作プロダクトも導入（～11月24日）、『国東半島芸術祭』（大分）にて、新作「花と人、コントロールできないけれども、共に生きる - Kunisaki Peninsula」を発表（～11月30日）、『Garden of Unearthly Delights: Works by Ikeda, Tenmyouya & teamLab』（アメリカ／ニューヨーク）で新作含む5作品を展示（～2015年1月11日）、など。

今後の予定として、『チームラボ 踊る！アート展と、学ぶ！未来の遊園地』（東京）にて、デジタルアート作品と「チームラボ 学ぶ！未来の遊園地」を同時展示（11月29日～2015年3月1日）など。

チームラボ株式会社

<http://www.team-lab.com>

チームラボ作品紹介

<http://www.team-lab.net>

■本件に関するお問い合わせ

チームラボ（広報担当・工藤／江城／森）

lab-pr@team-lab.com

03-5804-2356